

# 道は阿寒川を**水位周知河川**に指定

洪水対策のために常時水位を監視する

道は、阿寒川を常時水位を観測する河川に指定することになりました。増水して特別警戒水位を超えると、市や関係機関にそのことが通知され、市は避難情報を発することができるようになります。

## ハザードマップの作成へ

水位周知河川の指定に合わせ、万が一、阿寒川が氾濫した場合の「洪水浸水想定区域図」が発表され、これを受けて、市は洪水ハザードマップをつくります。この地図を見ると、どの地域が、どのくらい深さで浸水するかがはっきりわかり、より安全な避難場所へ、より確実な方法で避難することができるようになります。

## 阿寒本町に新水位観測施設

これまで観測体制が空白だった阿寒町の本町地区に、新たな水位観測施設が設置されることになり、これで阿寒川の水位監視体制ができあがります。

村上加ずしげ議員が、議会で繰り返し提言していたことがやっと実現しました。



市議会議員  
**村上加ずしげ**

## 29年度決算から見れば、 国保料値上げは回避できたはず

29年度、釧路市は医療費が足りなくなると言って、一世帯当たり一、四四四円国保料を値上げしました。29年度が終わって決算を見ると、なんと3・7億円も黒字になっていました。こんなに黒字になるなら、国保料の値上げは必要ありませんでした。

しかも、市は国保料軽減のための一般会計からの繰り入れを29年度も見送りしました。一般会計から繰り入れをして、国保料の負担を軽減することが、市民生活にはどうしても必要です。

## 二年続けて 公道での装甲車訓練



9月25日、155ミリりゅう弾砲をはじめ装甲車輛8両が、釧路西港から矢別演習場まで、公道を使った自走訓練を行いました。

胆振東部地震でオスプレイの訓練は中止、東千歳から苫小牧までの装甲車の自走訓練も中止されたのに、釧根の演習だけは無理やり強行です。

村上議員は議会で、「装甲車の自走訓練を中止するよう国に求めよ」と迫り、当日夜の抗議行動にも参加しました。

## 教員の働き方改革を問う

教員の過重労働が大問題になっています。部活指導の負担は大変なものです。しかし、授業数と同じ時間だけ、授業の準備に時間をかけているのが先生たち。1日の授業時間を減らさないと本当の負担軽減はできません。

村上議員は、「音楽、体育、そして時間数が拡大される英語などは、小学校でも専科の先生を配置して」「特別支援学級の定員をせめて養護学校なみに減らして」「など、「教員の数を増やすことが一番の現場の先生たちの願いです」と、改善を求めました。



### 大地震と大停電の被害、今年の自走訓練中止せよ!!